

特定非営利活動法人岡山県セーリング連盟

第19回定時総会

日時：令和3年5月23日（日）10時00分～

場所：瀬戸内市牛窓町牛窓4948-35（竹内医院前）

うらら2階会議室及びWEB会議システム

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 議 案

第1号議案 令和2年度事業報告及び

令和2年度活動決算承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画案及び

令和3年度活動予算案承認の件

第3号議案 定款一部変更案承認の件

4. 閉 会

令和2年度 理事会 審議・協議・連絡・報告事項

第1回 4月26日(日)

審議事項

- 1 定時総会(活動決算書・事業計画書・活動予算書・担当業務表)
- 2 競技日程表
- 3 強化事業計画書
- 4 補助金予算書
- 5 次期役員改選

協議事項

- 1 トレーラーの保険
- 2 中四国連絡会

連絡・報告事項

- 1 その他

第2回 7月26日(日)

審議事項

- 1 全国大会に出場する選手の証明
- 2 瀬戸内市補助金予算書

協議事項

- 1 牛窓ヨットハーバーからの業務委託
- 2 県連70周年記念イベント等の開催

連絡・報告事項

- 1 VSR進捗状況
- 2 ふるさと納税について
- 3 牛窓ヨットハーバーの利用について
- 4 その他

第3回 11月22日(日)

審議事項

- 1 県競技力向上補助金
- 2 トレーラー使用料のルール改定

協議事項

- 1 中四国連絡会
- 2 70周年記念式典

連絡・報告事項

- 1 瀬戸内市補助金報告書
- 2 器具備品点検
- 3 ふるさと納税
- 4 スプリングレガッタ
- 5 ガバナンス・コードについて
- 6 NJB/ARO・LRO更新講習会
- 7 その他

令和2年度 事業報告

今年度も岡山県セーリング連盟での活動は、無事故で全事業を終えることができました。海のスポーツということで安全面には最大限配慮して競技を運営していますが、今後も無事故を目標にセーリング競技の普及、強化を行っていききたいと思います。しかし、今年度はコロナ禍の影響もあり、多くの大会が延期、中止となりました。競技力が下がらないように日々の練習を大切に、活動していきたいと考えています。鹿児島国体での活躍が期待された少年男子420級の山本／守時(邑久高校)や少年女子420級の平川／隠地(倉敷鷲羽高校)、少年女子レーザーラジアル級の佐藤(倉敷鷲羽高校)など多くの有望な選手がいました。大学でも競技を続ける選手もいるので、今後期待するとともに、生涯スポーツとして競技の魅力を今後も発信していきたいです。

瀬戸内ジュニアセーリングクラブも県外の大会に出場するなど、徐々に普及の輪が広がっています。まだ、ヨットの数が十分で無いなど設備面で不十分な面もあるため、引き続き岡山県スポーツ協会と協議を行い、普及・強化を両立して図っていききたいと思います。

《県内大会》

【岡山県夏季ヨット選手権大会】

6月27日 牛窓ヨットハーバー

少年男子ダブルハンドクラス

1位 山本 宝・守時 秀平(邑久高校)

少年女子ダブルハンドクラス

1位 平川 知奈・隠地 美桜(倉敷鷲羽高校)

少年女子シングルハンドクラス

1位 佐藤 杏美(倉敷鷲羽高校)

2位 山本 菜菜(倉敷鷲羽高校)

【令和2年度岡山県高等学校新人ヨット選手権大会】

11月14日・15日 牛窓ヨットハーバー

ダブルハンドクラス

1位 下永 一輝・湯浅 海翔(邑久高校)

2位 岡田 凌河・明石 鳳太郎(倉敷鷲羽高校)

シングルハンドクラス

1位 榎 莉苒(倉敷鷲羽高校)

2位 八百原 彩花(倉敷鷲羽高校)

3位 多田 未来(倉敷鷲羽高校)

4位 服部 鈴菜(倉敷鷲羽高校)

《地区大会》

【OP級西日本選手権大会】

9月20日～22日 福岡市ヨットハーバー

OP級Aクラス

58位 松枝 市悟 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ

【中国学生ヨット選手権大会】

10月10日・11日 観音マリーナ

団体総合 1位 岡山大学

国際470級 団体 1位 岡山大学

国際スナイプ級 団体 2位 岡山大学

【全日本学生ヨット個人選手権大会中国水域予選】

10月17日・18日 牛窓ヨットハーバー

国際470級

1位 金中 工歩・田中佑太郎(岡山大学)
2位 尾上 元哉・西 隆宏(岡山大学)
4位 芝 海斗・草本 涼(岡山大学)

国際スナイプ級

2位 柴田 千里・宮本 泰成(岡山大学)
4位 田井 佑樹・平塚 貴大(岡山大学)

【坊ちゃんカップヨット大会】

10月31日・11月1日 新居浜マリーナ

OP級

Aクラス

35位 松枝 市悟 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ

Bクラス

12位 武内 瑛汰 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ
21位 八家鼓汰郎 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ

【2021光ウィーク高校ヨット選手権大会】

3月26日～28日 山口県スポーツ交流村ヨットハーバー

420級

3位 下永・湯浅(邑久高校)
6位 多田・明石・八百原(倉敷鷺羽高校)

《全国大会》

【JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFジュニアユースセーリングチャンピオンシップ】

8月1日・2日 和歌山セーリングセンター

OP級Aクラス

61位 松枝 市悟 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ

8月13日～16日 和歌山セーリングセンター

420級オープンクラス

6位 山本 宝・守時 秀平 邑久高校
レーザーラジアル級男子
29位 佐藤 晴哉 邑久高校

【第85回全日本学生ヨット選手権大会】

10月29日～11月3日 和歌山セーリングセンター

団体総合 17位 岡山大学

国際470級 21位 岡山大学 国際スナイプ級 20位 岡山大学

【第73回全日本スナイプ級ヨット選手権大会】

11月13日～15日 和歌山セーリングセンター

50位 大古 詩織・平塚 貴大(岡山大学)

63位 田井 佑樹・宮本 泰成(岡山大学)

【2020年 全日本レーザー選手権大会】

11月21日～23日 津ヨットハーバー

レーザーラジアル級 18位 森岡 数明
32位 大西 裕
59位 高嶋由紀雄(JFEスチール株)
82位 山中 泰智(JFEスチール株)

【2020年度 全日本学生ヨット個人選手権大会】

11月27日～11月29日 海陽ヨットハーバー

国際470級

39位 金中 工歩・田中佑太郎(岡山大学)

47位 芝 海斗・西 隆宏(岡山大学)

49位 尾上 元哉・草本 涼(岡山大学)

スナイプ級

19位 柴田 千里・宮本 泰成(岡山大学)

37位 田井 佑樹・平塚 貴大(岡山大学)

■ 普及事業

事業内容	実施日	会場	運営主体
ヨット教室(ディンギー)	5月～10月	牛窓ヨットハーバー	牛窓海洋スポーツ振興会主催
ヨット教室(クルーザー)	4月～3月	牛窓ヨットハーバー	連盟(牛窓セーリングアカデミー)
障害者ヨット体験試乗会	4月～3月	牛窓ヨットハーバー	セーラビリティスナメリ
パッジテスト	5月	渋川・牛窓	連盟(安全指導部)
ヨット練習会	4月～3月	牛窓ヨットハーバー	連盟(社会人、大学生、高校生、ジュニア)

令和2年度 選手強化事業実績

ジュニア選 手強化	No.	事業名	月	日	泊	日	場所	少男	少女
	1	合宿	8	11～16	5	6	和歌山セーリングセンター	○	
	2	練習会	11	14～15	1	2	牛窓ヨットハーバー	○	○
	3	練習会	12	25～28	3	4	牛窓ヨットハーバー	○	

令和2年度活動計算書

(単位:円)

特定非営利活動法人岡山県セーリング連盟 自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員登録会費	234,550		234,550
団体加盟金	180,000		180,000
【寄付金】			
寄付金 賛助会員	60,000		60,000
【受取助成金等】			
国体成年選手強化事業補助金	1,259,000		1,259,000
ジュニア選手育成強化事業補助金	562,000		562,000
競技力向上事業補助金	2,949,000		2,949,000
国体選手監督派遣補助金	0		0
瀬戸内市特別補助金	3,215,000		3,215,000
【事業収益】			
競技会運営収益	0		0
【その他収益】			
運営船・備品使用料	482,300		482,300
トレーラー使用料	2,000		2,000
受取 利息	571		571
雑 収 益	4,225		4,225
経常収益 計	8,948,646	0	8,948,646
【経常費用】			
【事業費】			
国体成年選手強化事業	1,320,738		1,320,738
ジュニア選手育成強化事業	556,783		556,783
競技力向上事業	126,600		126,600
競技艇保管費	81,340		81,340
国体選手監督派遣費	0		0
燃料費	48,332		48,332
競技会運営費	158,400		158,400
競技用品・備品購入費	1,051,571		1,051,571
運営船修繕費	0		0
車両整備・車検附帯費	177,930		177,930
船舶整備・船検附帯費	127,595		127,595
JSAF水域理事旅費分担金	30,800		30,800
事業費 計	3,680,089	0	3,680,089
【管理費】			
旅費交通費	321,000		321,000
通信運搬費	153,316		153,316
事務消耗品費	10,059		10,059
器具備品費	197,010		197,010
修 繕 費	0		0
印刷製本費	8,015		8,015

会議費	1,304		1,304
寄付金	30,000		30,000
租税公課	31,500		31,500
水道光熱費	60,000		60,000
慶弔費	0		0
諸会費	135,000		135,000
諸手数料	22,433		22,433
雑費	1,800		1,800
保険料	144,400		144,400
管理費計	1,115,837	0	1,115,837
経常費用計	4,795,926	0	4,795,926
当期経常増減額	4,152,720	0	4,152,720
【経常外収益】			
経常外収益計	0	0	0
【経常外費用】			
固定資産除却損	0		0
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	4,152,720	0	4,152,720
当期正味財産増減額	4,152,720		4,152,720
前期繰越正味財産額			25,728,278
次期繰越正味財産額			29,880,998

【活動計算書の注記】

R2年度会員	一般 31名 大学生 25名 高校生 16名 ジュニア 4名	合計 76名
団体加盟金	ベネッセホールディングス 牛窓ヨットクラブ 岡山県ボードセーリング協会 セイラビティスナメリ 岡山大学ヨット部 川崎医科大学ヨット部 邑久高等学校ヨット部 倉敷鷺羽高校生ヨット部 瀬戸内ジュニアセーリングクラブ	各25,000円 各25,000円 各20,000円 各15,000円 10,000円
受取寄附金	竹内宣昭氏	60,000円
雑収益	JSAF艇種別還付金	4,225円
支払寄付金	岡山県スポーツ協会寄付金	30,000円
諸会費	岡山県スポーツ協会負担金 日本セーリング連盟団体加盟金 岡山県NPOセンター年会費	65,000円 67,000円 3,000円
支援・監視艇資産購入	県補助金2,850,000円 瀬戸内市補助金1,000,000円	

令和 2 年 度 貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人岡山県セーリング連盟
全事業所

(単位:円)
令和3年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		預り金	0
現金	187	流動負債計	0
普通預金	6,157,813	負債の部合計	0
定期預金	6,000,000	正 味 財 産 の 部	
郵便貯金	132,366	【正味財産】	
現金・預金計	12,290,366	前期繰越正味財産額	25,728,278
(その他流動資産)		当期正味財産増減額	4,152,720
立替金	63,215	正味財産計	29,880,998
その他流動資産計	63,215	正味財産の部合計	29,880,998
流動資産合計	12,353,581		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
車両運搬具	720,000		
什器備品	1,155,198		
競技艇	3,101,590		
支援・監視艇	12,550,629		
有形固定資産計	17,527,417		
固定資産合計	17,527,417		
資産の部合計	29,880,998	負債・正味財産の部合計	29,880,998

令和2年度財産目録

特定非営利活動法人岡山県セーリング連盟
全事業所

(単位:円)
令和3年3月31日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	187	
普通 預金	6,157,813	
定期 預金	6,000,000	
郵便 貯金	132,366	
現金・預金 計		12,290,366
(その他流動資産)		
立 替 金	63,215	
その他流動資産計		63,215
流動資産合計		12,353,581
【固定資産】		
(有形固定資産)		
車両運搬具	720,000	
什器 備品	1,155,198	
競 技 艇	3,101,590	
支援・監視艇	12,550,629	
有形固定資産 計		17,527,417
固定資産合計		17,527,417
資産の部 合計		29,880,998
《負債の部》		
【流動負債】		
預り金	0	
流動負債 計		0
負債の部 合計		0
正味財産		29,880,998
【財産目録の注記】		
普通預金	NO.1405011	198,186 円
	NO.1139060	1,253,364 円
	NO.1151108	662,570 円
	NO.1144802	4,043,693 円
	NO.1425194	0 円
	合 計	6,157,813 円
固定資産 支援艇	プレジャー(VSRゴムボート)	3,850,000円

監 査 報 告 書

令和3年5月12日に特定非営利活動法人岡山県セーリング連盟
事務所において、会計担当者立会いの下に監査をおこないました。
令和2年4月1日から令和3年3月31日までの現金出納帳、
預金通帳、帳票類は適正に処理されており、決算書が正確である
ことを認めましたので、ここにご報告いたします。

令和3年5月12日

特定非営利活動法人 岡山県セーリング連盟

監 事 徳 田 清 

監 事 渡 邊 宝 

令和3年度 事業計画書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1. 事業の方針

1) 事業目的

令和3年度 本連盟は岡山県のセーリング競技のチーム、競技者及び愛好者に対して競技活動の支援、技術の普及に関する事業、競技会開催を行い、岡山県内におけるセーリング競技の定着と振興に寄与するとともに、県内の青少年の健全育成とセーリング愛好者の豊かな人生づくりに貢献する。

【基本活動方針】

- ①セーリング競技会、講習会の主催、共催、後援を行う。
- ②競技選手を育成する。
- ③セーリング普及事業を推進する。
- ④セーリング指導者を育成する。
- ⑤大学ヨット部、岡山県高体連と共同事業を推進する。
- ⑥障がい者対象のセーリング普及事業を後援する。

2) 事業計画

前記の基本活動方針のもとに、令和3年度は下記の事業を行う。

- ①国体予選会、大学、高校のレース、クルーザーレースを実施する。
- ②ジュニアヨット教室を実施する。
- ③国体の上位入賞を目指して候補選手を強化し育成する。
- ④スナメリの会と協力して、7月に「ハンザクラスの大会」を行う。
- ⑤他の市民団体、公的組織との協力・連携を推進する。
- ⑥組織の整備・財源確保
 - ・会員の拡充を図る。
 - ・賛助会員を増やす。
 - ・各専門部活動を活性化する。
 - ・JSAF公認資格取得者を増やす。
 - ・クルーザー愛好者との連携を推進する。
 - ・ふるさと納税寄付者を増やす。

令和3年度岡山県セーリング競技レース日程

(2021年4月1日～2022年3月31日)

年	月	日程	大会名	場所	担当	県外レース
2021年	4月	18日	連盟理事会	牛窓	連盟	
	5月	8, 9日	高校春季大会	牛窓	高体連	2～5日 高校選抜(境港)
		23日	NPO法人岡山県セーリング連盟総会	牛窓	県連盟	4, 5日 JY交流(山口)
		29, 30日	岡山県高校総体	牛窓	高体連	22, 23日 セイル広島(観音)
	6月	17～20日	国体予選(少年男女420)	鳥取		17～20日 中国総体(鳥取)
		26, 27日	中四国インカレ	牛窓	岡山大学・県連	
	7月	10日	ジュニア体験会(予定)	牛窓		10, 11日 中国470、スナイブ(観音)
		11日	ハンザ体験会(予定)	牛窓	スナメリ	17, 18日 全日本チーム(観音)
		11日	バッジテスト	牛窓	安全指導部	
		17, 18日	国体予選(WS男女、470, SS, laser, laserラジアル)	牛窓	県連盟	
		25日	理事会(国体選手選考)	牛窓	県連盟	
	8月	21日	開港記念レース	牛窓	ハーバー・県連盟	12～16日 インターハイ(和歌山)
		22日	ジュニア体験会(予定)	牛窓	ジュニア	20～22日 HIKARIMARINCUP(山口)
		28日	岡山大学OBLレース	牛窓	岡山大学	20～22日 全日本OP(小戸)
						20, 21日 海の甲子園(西宮)
						25～29日 全日本スナイブ(境港)
	9月					28, 29日 四国laser(松山)
						3～5日 インカレ個戦(蒲郡)
						10～12日 リハーサル国体(栃木)
					18～20日 OPチームレース(観音)	
					18～20日 女子インカレ(葉山)	
10月	10日	瀬戸内市長杯・オーブカップヨットレース	牛窓	牛窓ヨットクラブ・県連盟	9, 10日 全日本レーザーマスターズ(境港)	
					30, 31日 坊ちゃんカップ(新居浜)	
11月	13, 14日	岡山県高校新人戦	牛窓	高体連	3～7日 インカレ(蒲郡)	
					19～23日 全日本レーザー(山口)	
12月					19～23日 全日本470(高松)	
					25～28日 全日本420(佐賀)	
2022年	1月	9日	ディンギー初夢杯	牛窓	県連盟	
	2月	5日	中四国連絡会議	山口		
	3月	19, 20日	西日本スプリングレガッタ	牛窓	県連盟・岡山大学	24～27日 光ウィーク(光)

★その他の年間行事

クルーザー体験ヨットスクール(随時)	OCS協力
障害者ヨット体験試乗会	スナメリの会
牛窓セーリングアカデミー(青木ヨット)毎月第4週の土日	県連盟

2. 具体的な事業実施案

1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	運営スタッフ	対象者	支出見込額 (千円)
主なセーリング競技会の開催	岡山県春季高校総体	5月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 15人	選手延べ 20人	
	岡山県高校総体	6月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 15人	選手延べ 20人	
	中四国インカレ	6月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 50人	選手延べ 100人	
	国体予選会	7月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 20人	選手延べ 40人	50
	瀬戸内市長杯	10月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 50人	選手延べ200人	100
	岡山県高校新人戦	11月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 15人	選手延べ 20人	
	初夢レース	1月(1日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 15人	選手延べ 20人	
	西日本スプリングレガッタ	3月(2日間)	牛窓ヨットハーバー	延べ 60人	選手延べ200人	
	計					150
選手強化事業	国体成年選手強化	4月～3月	牛窓ヨットハーバー 他	延べ 100人	強化選手・監督 コーチ	1,259
	ジュニア選手育成・強化	4月～3月	牛窓ヨットハーバー 他	延べ 100人	強化選手・監督 コーチ	602
		計				1,861
普及事業	ジュニアヨット教室	4月～3月	牛窓ヨットハーバー 他	延べ 20人	強化選手・監督 コーチ	100
国民体育大会	三重国体	9月(4日間)		延べ 90人	強化選手・監督 コーチ・役員	2,000

2) その他の事業(収益事業) 当期は実施しない

令和3年度特定非営利活動事業会計活動予算書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益の部			
1 会費収益			
1) 正会員登録	212,000		会員一般50名・高校25名・ジュニア8名・(大学生免除) 大学2校、高校2校、企業・団体4・ジュニア1
2) 団体加盟金	180,000		
会費収益合計		392,000	
2 寄付金等の収益			
1) 寄付金(賛助会員)	320,000		
寄付金等の収益合計		320,000	
3 受取助成金等の収益			
1) 国体成年選手強化事業補助金	1,259,000		公益財団法人岡山県スポーツ協会補助金 公益財団法人岡山県スポーツ協会補助金 公益財団法人岡山県スポーツ協会補助金 瀬戸内市補助金
2) ジュニア選手育成強化事業補助金	562,000		
3) 国体選手・監督派遣補助金	2,000,000		
4) 瀬戸内市特別補助金	2,309,000		
5) 競技力向上事業	42,000		
受取助成金等の収益合計		6,172,000	
4 事業収益			
1) 競技会運営収益	350,000		主催競技会参加料収益
事業収益合計		350,000	
5 その他収益			
1) 運営船・備品使用料	560,000		艇・備品使用料
2) トレーラー使用料	30,000		牽引トレーラー貸与
3) 受取 利息	600		
4) 雑収益	2,600		JSAF還付金
		593,200	
経常収益合計		7,827,200	

科 目	金 額		備 考
II 経常支出の部			
1 事業費			
1) 国体成年選手強化事業	1,259,000		成年種目国体候補選手強化事業費
2) ジュニア選手育成強化事業	562,000		ジュニア選手育成強化事業費
3) 国体選手・監督派遣費	2,000,000		
4) 競技力向上事業	42,000		
5) 競技会運営費	350,000		主催及び共催競技会運営費用
6) 燃料費	105,000		支援艇ガソリン代
7) 指導者養成事業費	0		
8) 講師招聘費	0		ヨット教室等の講師謝礼
9) 講習会開催費	0		JSAF公認資格講習会開催費
10) 公認資格取得補助費	0		県外で受講して公認資格取得者に受講料半額を補助
11) 競技艇保管費	82,000		貸しロッカー代
12) 競技用品・備品購入費	1,652,000		セール・マスト代、レース備品、大会用品
13) 艇修繕費	150,000		
14) 車両整備・車検附帯費	180,000		トレーラー整備
15) 艇整備費・船検附帯費	180,000		
16) JSAF水域理事旅費分担金	30,000		
事業費合計		6,592,000	
2 管理費			
1) 旅費交通費	400,000		旅費交通費
2) 人件費	0		
3) 通信運搬費	150,000		電話代、切手・ハガキ、ホームページ用ソフト
4) 事務消耗品費	14,000		事務用品
5) 器具備品費	50,000		外付けハードディスク、パソコン用品
6) 修繕費	0		
7) 印刷製本費	150,000		総会資料、大会ポスター、コピー用紙、トナー、プリンターインキ他
8) 新聞図書費	0		ルールブック、カレンダー、その他図書の購入
9) 会議費	10,000		会議室借用料
10) 寄付金	30,000		公益財団法人岡山県スポーツ協会協賛金
11) 租税公課	31,500		トレーラー自動車税3台分
12) 水道光熱費	60,000		連盟事務所の水道光熱費(5,000円×12ヶ月)
13) 慶弔費	20,000		関連団体等の関係者慶弔費
14) 諸会費	135,000		公益財団法人岡山県スポーツ協会負担金・岡山県NPOセンター会費
15) 諸手数料	23,700		銀行・郵便口座手数料
16) 雑費	1,000		ごみ処理代
17) 保険料	160,000		艇保険料、車両保険
18) その他	0		
管理費合計		1,235,200	
経常支出合計			7,827,200
経常収支			0

変更後	変更前
<p>(加盟団体)</p> <p>第3条 本連盟は、<u>公益財団法人日本セーリング連盟</u>に加盟し、<u>公益財団法人岡山県スポーツ協会</u>の構成団体となる。</p> <p>(目的)</p> <p>第4条 本連盟は、岡山県内のセーリング競技のチーム、競技者及び愛好者に対して、競技活動の支援、技術の普及に関する事業、競技会開催等を行い、岡山県内におけるセーリング競技の定着と振興に寄与するとともに、県内の青少年の健全<u>育成</u>とセーリング愛好者の豊かな人生づくりに貢献する。</p> <p>(開催)</p> <p>第17条 通常総会は、毎年1回開催する。</p> <p>2. 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) <u>理事長</u>が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。</p> <p>(3) 正会員総数の5分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。</p> <p>(4) 第26条<u>第7項</u>第4号の規定により、監事から招集があったとき。</p> <p>(5) 第26条<u>第7項</u>第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。</p> <p>(選任等)</p> <p>第25条 理事及び監事は、総会において選任する。</p> <p>2. 理事長は、理事の互選とする。</p> <p>3. 理事長は、理事の中から、副理事長を指名し任免する。</p> <p>4. 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が</p>	<p>(加盟団体)</p> <p>第3条 本連盟は、財団法人日本セーリング連盟に加盟し、岡山県<u>体育協会</u>の構成団体となる。</p> <p>(目的)</p> <p>第4条 本連盟は、岡山県内のセーリング競技のチーム、競技者及び愛好者に対して、競技活動の支援、技術の普及に関する事業、競技会開催等を行い、岡山県内におけるセーリング競技の定着と振興に寄与するとともに、県内の青少年の健全<u>発育</u>とセーリング愛好者の豊かな人生づくりに貢献する。</p> <p>(開催)</p> <p>第17条 通常総会は、毎年1回開催する。</p> <p>2. 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) <u>事理長</u>が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。</p> <p>(3) 正会員総数の5分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。</p> <p>(4) 第26条<u>第6項</u>第4号の規定により、監事から招集があったとき。</p> <p>(5) 第26条<u>第6項</u>第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。</p> <p>(選任等)</p> <p>第25条 理事及び監事は、総会において<u>正会員の中から</u>選任する。</p> <p>2. 理事長は、理事の互選とする。</p> <p>3. 理事長は、理事の中から、副理事長を指名し任免する。</p> <p>4. 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が</p>

<p>一人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。</p> <p>5. 監事は、本連盟の理事又は職員を兼ねることができない。</p> <p>(職務)</p> <p><u>第26条 会長は、本連盟の基本理念の指導にあたる。</u></p> <p>2. 理事長は、本連盟を代表し、その業務を総理する。</p> <p>3. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。</p> <p>4. 理事長は、理事会の議決に基づき本連盟の業務を掌理する。</p> <p>5. 副理事長は、理事長を補佐して、理事会の議決に基づき日常の業務を分担処理する。</p> <p>6. 理事は、理事会を構成し、本定款の定め及び理事会の議決に基づき、業務を執行する。</p> <p>7. 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。</p> <p>(2) 本連盟の財産の状況を監査すること。</p> <p>(3) 前2号の規定による監査の結果、本連盟の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。</p> <p>(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。</p> <p>(5) 理事の業務執行の状況又は本連盟の財産の状況について、理事に意見を述べ、理事会の招集を請求すること。</p>	<p>一人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。</p> <p>5. 監事は、本連盟の理事又は職員を兼ねることができない。</p> <p>(職務)</p> <p>第26条 (現行、該当箇所なし)</p> <p>理事長は、本連盟を代表し、その業務を総理する。</p> <p>2. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。</p> <p>3. 理事長は、理事会の議決に基づき本連盟の業務を掌理する。</p> <p>4. 副理事長は、理事長を補佐して、理事会の議決に基づき日常の業務を分担処理する。</p> <p>5. 理事は、理事会を構成し、本定款の定め及び理事会の議決に基づき、業務を執行する。</p> <p>6. 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。</p> <p>(2) 本連盟の財産の状況を監査すること。</p> <p>(3) 前2号の規定による監査の結果、本連盟の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。</p> <p>(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。</p> <p>(5) 理事の業務執行の状況又は本連盟の財産の状況について、理事に意見を述べ、理事会の招集を請求すること。</p>
--	---

<p>(開催)</p> <p>第34条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 理事長が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 理事総数の3分の2以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって、招集の請求があったとき。</p> <p>(3) 第26条第7項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。</p> <p>(招集)</p> <p>第35条 理事会は、理事長が招集する。</p> <p>2. 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から14日以内に理事会を招集しなければならない。</p> <p>3. 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも3日前までに通知しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><u>第8章 専門委員会</u></p> <p>(委員会)</p> <p><u>第44条 この法人の事業の円滑な運営を図るため、理事会の決議により、専門委員会を設置することができる。</u></p> <p><u>2 専門委員会の委員は、理事会において選任する。</u></p> <p><u>3 専門委員会の任務、構成及び運営に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める委員会規則によるものとする。</u></p>	<p>(開催)</p> <p>第34条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 理事長が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 理事総数の3分の2以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって、招集の請求があったとき。</p> <p>(3) 第26条第6項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。</p> <p>(招集)</p> <p>第35条 理事会は、理事長が招集する。</p> <p>2. 理事長は、前条第2号、<u>第3号及び第4号</u>の規定による請求があったときは、その日から14日以内に理事会を招集しなければならない。</p> <p>3. 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも3日前までに通知しなければならない。</p> <p>(現行、該当箇所なし)</p>
<p>現行の第8章、第44条以降、番号が1ずつ繰り下がります。</p>	

令和3年度担当業務表

担当業務	部門	代表	メンバー		
競技会運営委員会	競技部	小西	池上	西岡	入澤
	ルール部	高坂	岩崎	中村	
	管理部 (運営船・艇・セール・備品)	西岡	小西	松本	入澤
選手強化委員会	ウインドサーフィン	辻田			
	成年・大学生	池上	松本		
	少年・ジュニア	小西	西岡	入澤	
指導者養成委員会	公認資格取得指導部	西岡			
	安全指導部(パッチテスト)	和気	渡辺		
普及委員会	障がい者	岸本			
	ジュニアヨット教室	入澤			
外洋艇委員会	外洋艇関連全般	岡本			
事務局	総務	西岡	太田	林	
	会計	西岡	太田	奥谷	
	広報(ホームページ)	岩崎	西岡		

セーリング団体		代表
渋川地区	一般社会人	谷
	ウインドサーフィン	辻田
	倉敷鷺羽高校	西岡
	ジュニア指導	谷
牛窓地区	一般社会人	入澤
	ジュニアヨット教室	
	岡山レーザーフリート	森岡
	牛窓ヨットクラブ(クルーザー)	岡本
	岡山大学	松本
	川崎医科大学	前田
	邑久高校	小西
	スナメリ	岸本

NPO法人 岡山県セーリング連盟組織図

